

アンリツ株式会社

2026年3月期 第3四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測事業のQ3業績評価と今後の見通しについて教えてほしい。

A1: 顧客の投資は戻っており、Q3の通信計測事業の業績は、ほぼ想定の枠内になりました。Q4以降も、データセンター関連を中心に需要は好調とみております。

Q2: 通信計測事業のQ3売上172億円に対し、受注残が250億円ほどあるが、特殊要因によって売上に繋がらなかったケースはあるか？

A2: 特殊要因はなく、受注のタイミングなどによるものです。

Q3: 光トランシーバーの800GEと1.6TE向け計測器需要の動向を教えてほしい。

A3: 1.6TE向けの計測器需要も立ち上がりつつありますが、現時点では800GE向けが主流です。

Q4: フィジカルAIの登場によるアンリツのビジネスへの影響はどのようなものか？

A4: フィジカルAIの進展に伴い、データセンター需要が伸びていくことが期待されます。

Q5: メモリの不足や価格高騰によるモバイルビジネスへの影響は出るか？

A5: 現在、当社ビジネスにおいて顕著な影響は出ていませんが、状況を注視しています。

Q6: 連結の粗利率が昨年同期比で改善していますが、理由を教えてほしい。

A6: FY2024は棚卸評価損などのコストが例年よりも多く発生していましたが、FY2025では定常水準に戻ったことが主な要因です。